

私たちは信頼創造企業です。

HAMAI

<http://www.hamai-net.com>

会社概要及び
2007年12月期決算説明
2008年3月



安全性とは、人が（呼吸をする）ことを日常において意識しないのと同じようにとらえられるべきだと、ハマイは考えています。つまり、（安全とは目立たない）ということです。こうした基本理念と、長年培った高い技術による製品作りが、ユーザーの信頼に高い評価を得ていると自負し、私たちハマイは、今後ますますの信頼性・高安全性のために、さらに研究・開発の努力を続けていきます。

Experience you can rely on

～LPガス容器用バルブのトップメーカー～

株式会社 **ハマイ**

■本社 〒141-8512 東京都品川区西五反田5-22-13

■府中工場 ■大多喜工場 ■大阪営業所 ■名古屋営業所 ■福岡営業所 ■仙台営業所 ■札幌出張所

目次

1. 会社概要
2. 経営方針
3. 2007年12月期決算の概要
4. 2008年12月期決算の見通し

1. 会社概要

会社概要

商号 株式会社ハマイ
 HAMAI INDUSTRIES LTD.
 本社 東京都品川区
 代表者 代表取締役社長 浜井 三郎
 創業 1927年(昭和2年)2月1日
 資本金 3億9530万円
 従業員 216名
 売上高 90億6200万円

事業内容 1. 各種弁類の製造及び販売
 2. 高圧ガス関連機器の製造及び販売
 3. 不動産の賃貸
 4. コンピューター関連機器等の販売

連結子会社 子会社 2社
 関連会社 3社
 (2007年12月期)

沿革

1927年2月 故浜井栄会長がガス溶断機の製造を目的に浜井製作所創業
 1953年8月 LP容器用バルブの製造を開始
 1960年11月 府中市に府中工場を新設
 1972年2月 日本証券業協会に店頭登録(現JASDAQ市場)
 1974年5月 千葉県に大多喜工場を新設
 1989年6月 大多喜工場に容器用弁新設工場完成
 1991年4月 株式会社ハマイに社名を変更
 1997年4月 府中工場余剰地に店舗建物を建設し、賃貸開始
 2005年2月 LPバルブ生産累計2億個達成
 2007年2月 創業80周年

2.経営方針について

開示経営、環境経営、
そして『企業の社会的責任』を意識した経営

- 徹底した品質・コスト管理及び
見える経営の推進による利益意識の共有化
 - ① 5Sの徹底と実施(品質向上)
 - ② コスト管理の徹底(原価低減)
 - ③ 収益のある経営(社会的責任)
- 技術開発力による強化
- 業績に連動した配当政策

3. 2007年12月期連結決算の概要

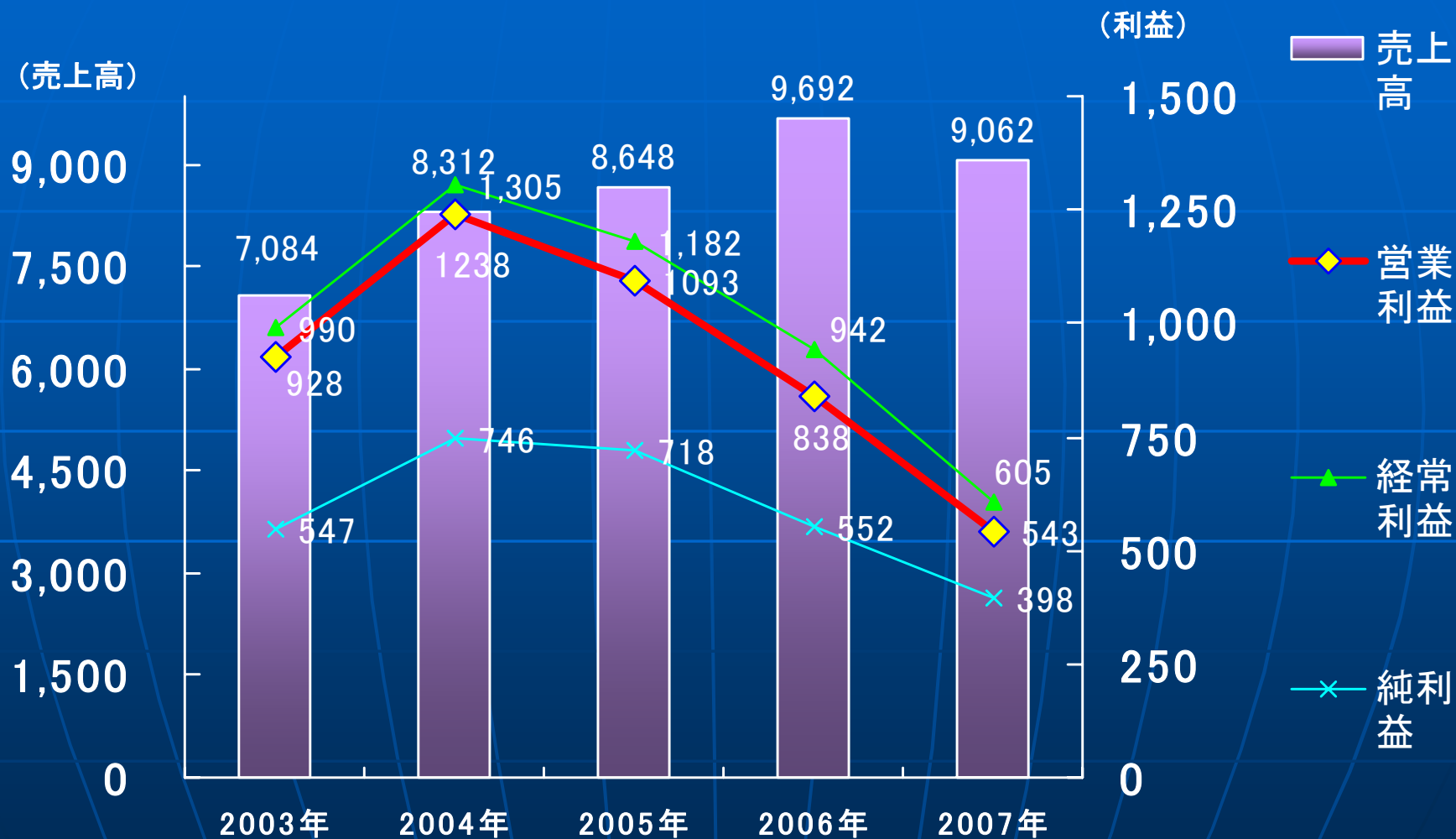
(単位:百万円)

	2006年12月期			2007年12月期					
	通 期 実 績			通 期 実 績			通 期 計 画		達成率 (%)
	金額	構成比 (%)	前年同期比 (%)	金額	構成比 (%)	前年同期比 (%)	金額	構成比 (%)	
売上高	9,692	100.0	12.1	9,062	100.0	▲6.5	8,346	100.0	108.6
売上原価	7,800	80.5	19.1	7,481	82.5	▲4.1	6,550	78.5	114.2
売上総利益	1,892	19.5	▲9.8	1,581	17.5	▲16.4	1,796	21.5	88.0
営業利益	838	8.6	▲23.3	543	6.0	▲35.2	773	9.2	70.2
経常利益	942	9.7	▲20.3	605	6.7	▲35.7	810	9.7	74.7
当期純利益	552	5.7	▲23.1	398	4.4	▲28.0	501	6.0	79.4

- 素材価格の急激な高騰の影響を受ける厳しい状況の継続、主力商品等の販売数減少に伴う減収
- 一方収益面に関しては、材料費の価格が予想された以上に高騰し、前期より更に原価率が上昇したため、減益

売上高・営業利益・経常利益及び純利益の推移

単位：百万円



●材料費の高騰に伴う原価率の上昇および主力商品の容器検査期間延長に伴う需要減少等による減収減益

4. 2008年12月期連結決算の見通し

(単位:百万円)

	2007年12月期(実績)			2008年12月期(予想)		
		構成比 (%)	前期比 (%)		構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	9,062	100.0	▲6.5	8,624	100.0	▲4.8
売上原価	7,481	82.5	▲4.1	6,918	80.2	▲7.5
売上総利益	1,581	17.5	▲16.4	1,706	19.8	7.9
営業利益	543	6.0	▲35.2	847	9.8	56.0
経常利益	605	6.7	▲35.7	936	10.9	54.7
当期純利益	398	4.4	▲28.0	568	6.6	42.7

～ポイント～

- 2008年12月期連結決算の見通しはご覧のとおり、それぞれ売上高86億円(前期比4.8%減)、営業利益8億4千7百万円(前期比56.0%増)、経常利益9億3千6百万円(前期比54.7%増)、当期純利益5億6千8百万円(前期比42.7%増)を見込んでおります。なお、次期より当グループの子会社、株式会社ビジネス・リンクスが連結対象からはずれる予定ですので、見通しからは除いての計上となります。

セグメント別売上高見通し

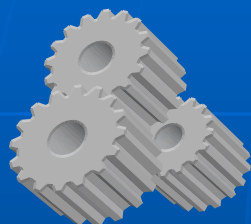
(単位:百万円)

	2007年12月期(実績)			2008年12月期(予想)		
		構成比 (%)	前期比 (%)		構成比 (%)	前期比 (%)
売上合計	9,062	100.0	▲6.5	8,624	100.0	▲4.8
バルブ事業	7,135	78.7	▲10.7	8,135	94.3	14.0
LPガス容器用バルブ	2,828	31.2	▲16.2	3,400	39.4	20.2
配管用バルブ	1,698	18.7	4.8	1,795	20.8	5.7
高圧ガス容器用バルブ	1,533	16.9	▲3.4	1,696	19.7	10.6
その他	1,075	11.9	▲23.6	1,244	14.4	15.7
不動産賃貸事業	488	5.4	0.6	489	5.7	0.2
その他の事業	1,439	15.9	18.4	—	—	

～ポイント～

- 次期よりその他の事業に関連しております当グループの子会社、株式会社ビジネス・リンクスが連結対象子会社からはずれる予定であることから、全体の売上としては前期比4.8%の減収となる見通しであります。

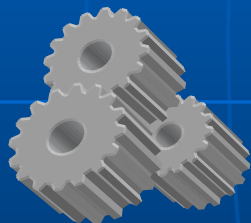
計画数値達成のための戦略



素材高騰対策 生産現場効率化



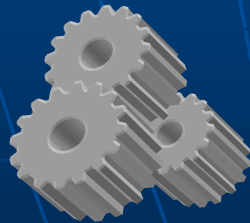
- 原材料の高騰による市場対策が急務
- 素材高騰対策への更なる取り組みとコスト削減の努力
- 生産拠点の集約、統廃合、省エネ対策



社内システムの 整備、人材育成



- 社内間における情報の迅速な把握及び管理体制の効率化の実現
- 企業価値、競争力向上のための教育・人材投資



新製品開発への 取り組み



- 環境対策となる水素燃料電池関連の新エネルギー機器の改良、実用化に向けた開発の継続
- 製品のモジュール化への取り組み

ありがとうございました。

IRに関するお問合せ先

株式会社ハマイ	広報・IR室		
IR担当役員			
常務取締役管理本部長	広報・IR室長	入江	万峯
IR事務連絡責任者			
管理本部 次長	IR担当	志村	孝男

将来の見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また将来における当社の業績が、現在の当社将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。